

総説

大学生のキャリア・アダプタビリティに関する文献検討
～看護大学生のキャリア・アダプタビリティ育成への示唆～

川本紀子*, 松本智晴**

A Literature Review of Career Adaptability in University Students.
- Implications for the Career Adaptability Development of Nursing Students -

Noriko Kawamoto*, Chiharu Matsumoto**

Key words: career adaptability, university students, career development

受付日 2023 年 10 月 20 日 採択日 2024 年 1 月 30 日

*熊本大学大学院保健学教育部 **熊本大学大学院生命科学研究部

投稿責任者: 松本智晴 matsu-c@kumamoto-u.ac.jp

I. 緒言

大学におけるキャリア教育は、2010 年の大学設置基準改正によって法的に位置づけられ、社会的および職業的な自立を目指した人材育成の一環として教育科目が導入され、大学生のキャリア支援が定着している。一方、看護大学生は一般の大学生とはキャリアへの準備状況が異なり、職業選択をして大学に入学するため大学では看護職に向けたキャリア支援が行われる。しかし、看護大学生の多くが臨地実習で心理的苦痛や看護職としての適応困難感を経験しており¹⁾、臨地実習の経験によるキャリアへの影響が報告されている。また、入職後も新人看護師の約 7 割が離職を考えた経験があり²⁾、人間関係のストレスや疲労感³⁾が離職意図のきっかけになっている。看護職は、入職後将来について考える機会が限られ、主体的にキャリアを選択し進展させることが難しいと指摘されており⁴⁾、新人看護師の離職を防止するためにも主体的なキャリア進展のための能力育成が必要である。

新社会人が社会の急激な変化に適応するための自己調整資源として、キャリア・アダプタビリティ

(Career Adaptability: 以下、CA) が注目されている。CA は、「個人が職業において直面する現在および予測される課題、移行、トラウマに対処するために必要な個人の心理的資源」⁵⁾と定義されており、Johnston⁶⁾は個人のキャリア発展や組織の成果にとって CA は重要であると述べている。CA に関する社会人を対象とした国外の先行研究では、変動の激しい社会や職業的課題への対処に必要な先行因子としての個人特性、CA のアウトカムとしての職務満足やワーク・エンゲージメントの向上が明らかにされている。一方、これから社会で活躍する大学生に焦点を当てた CA の関連因子について、網羅的に検討した研究は見あたらない。大学生が将来のキャリアをデザインし、社会的及び職業的な自立を促進していくためには、社会人に移行する前から CA を高めていくことが重要である。そのために、大学生の CA に影響する因子とアウトカムを明らかにする必要がある。看護職を目指す看護大学生においては、入職後も主体的にキャリアを進展させていくためにも、CA に関する影響因子を把握することでキャリア支援につながる CA 育成のための示唆を得る必要があると考えた。

そこで本研究は、大学生を対象とした CA に関する研究を系統的に整理し、先行因子とアウトカムおよび CA との関連を明らかにすることによって大学生と看護大学生の CA の特徴を把握し、看護大学生の CA 育成のための示唆を得ることを目的とした。

II. 研究方法

1. 文献検索方法

国外文献は Academic Search Premier、MEDLINE、ERIC を用い、2018 年から 5 年間の原著論文を検索した。「(career adaptability) AND (college students OR university students OR undergraduate students)」で検索した 69 件のうち、看護大学生を対象とした文献は 1 件であったため、看護大学生に絞って追加検索した。「(career adaptability) AND (nursing students OR student nurses OR undergraduate nursing students)」で検索した 7 件を加えた 76 文献について、タイトルおよび要旨から関連因子について記述があり、看護専門学校生を対象としたものを除いた 22 件を分析対象とした。

国内文献は CiNii Research、医学中央雑誌 Web 版を用いて、2018 年から 5 年間の原著論文を検索した。「キャリア・アダプタビリティ AND 学生」で検索した 7 件のうち、看護学生を対象とした文献は 0 件であったため、「看護学生」で追加検索したがヒットしなかった。7 文献についてタイトルおよび要旨から関連因子について記述がある 3 件を抽出した。以上より、国内・国外文献の計 25 文献を分析の対象とした。

2. 分析方法

対象文献から CA の先行因子とアウトカムを抽出し、内容の類似性に基づき分類し、抽象度を高めながらカテゴリ化した。分析過程においては、2 名の研究者で意見が一致するまで検討することで分析の真実性を確保するよう努めた。

III. 結果

1. 大学生の CA に関する文献の概要 (表 1)

対象文献で用いられている概念はキャリア構築理論 (Career Construction Theory: CCT) が 20 件であった。CA 測定に使用されていた尺度は、13 か国の共同研究により開発された Career Adaptabilities Scale (以下、CAAS)⁷⁾ が 7 件、CAAS の短縮版、または翻訳版が 17 件、CCT の概念枠組みを用いて開発した尺度による研究が 1 件であった。発表国別では、中国が 10 件と最も多く、次いで韓国および日本が各 3 件、トルコ 2 件、その他 7 か国で各 1 件であった。大学生の分野は、経済学、文学、教育学、工学など複数の分野を対象としたものが 11 件、看護大学生が 3 件、分野の記述がないものが 11 件であった。研究デザインは量的横断研究が 21 件、キャリア授業やセミナー後の CA 変化を検討した縦断研究が 4 件であった。

2. 先行因子および CA との関連について

先行因子は 33 因子抽出され、4 カテゴリと 11 サブカテゴリが生成された (表 2)。以下、カテゴリを【 】, サブカテゴリを< >で示す。

【個人特性】は、<属性><感情・意思の傾向><成育背景>で構成された。<属性>では、学年が高いほど CA が高かった⁸⁾⁹⁾。性別では、キャリアへの積極的な態度が高い男性の CA が高く¹⁰⁾、女性は未来を志向し準備する態度や自己決定が男性よりも低かった⁹⁾。<感情・意思の傾向>の性格についてはビッグファイブ理論 (Goldberg, 1992) が用いられており、「外向性」、「開放性」、「誠実性」が CA に影響していた¹¹⁾。特に、能動的・積極的な行動をとる性格傾向を示すプロアクティブパーソナリティをもつ大学生は、専攻への強いアイデンティティを持っており、CA も高かった¹²⁾。楽観主義¹³⁾は看護大学生にみられた因子であり、CA に影響していた。<成育背景>では、親との愛着不安が高いほど、CA が低かった¹⁴⁾。

【資質】は、<感情調節><創造性>で構成された。<感情調節>では、自分や相手の感情を正しく認識し、共感的に反応する能力を示す感情的知性は

CA の向上に不可欠であることが示されていた¹⁵⁾。また、状況に対する考え方や解釈の変化を通じて感情を変容させる認知的感情制御³³⁾ができる学生は、CA や自己効力感が高かった¹⁶⁾。〈創造性〉においては、社会の課題を自分なりに解決していこうとする社会的創造性が CA に影響しており²⁸⁾、看護大学生においては看護に特化した看護コンピテンシーが影響していた¹⁷⁾。

【自己コントロール】は、〈将来の自己像〉〈自己概念〉〈自己効力感〉〈自己の省察〉で構成された。〈将来の自己像〉の仕事に関する未来展望¹⁸⁾、〈自己概念〉の職業的アイデンティティ¹²⁾は、プロアクティブパーソナリティと CA の関係を媒介する役割があった。〈自己効力感〉では、キャリアの決定¹⁵⁾や学業¹⁹⁾についての自己効力感が、CA に影響を与えていた。

【ソーシャルサポートの認識】は、〈人的支援〉〈社会的資源〉で構成された。〈人的支援〉では、家族や友人、周囲の重要他者からのソーシャルサポートの認識によって CA が向上していた¹²⁾。〈社会的資源〉は、課外活動やキャリア教育という学習環境が含まれ、看護大学生においても実習環境は CA を高める因子となっていた²⁰⁾。

3. アウトカムおよび CA との関連について

CA のアウトカムは 23 因子が抽出され、2 カテゴリと 7 サブカテゴリが生成された (表 2)。

【適応努力】は、〈職業的自立〉〈キャリア探索〉〈キャリア計画〉〈キャリアへの意欲〉で構成された。〈職業的自立〉では、CA が社会環境を理解し自己の行動に役立てる自己モニタリングに影響しており²³⁾、看護大学生においても、CA が看護職として就業していく能力を示すエンプロイアビリティの認識に影響することが示されていた²⁰⁾。〈キャリア探索〉では、キャリア教育による介入がキャリア探索への自己効力感を有意に増加させることが示されていた¹⁷⁾。〈キャリア計画〉では、キャリア教育の研修を受けた大学生の CA は高いまま半年後も持続し、好奇心を持って自己のキャリアを探索していた²¹⁾。一方、CA とキャリアへの不安や意思決定困難がある場合は、CA と負の相関を示した¹⁸⁾²²⁾。

〈キャリアへの意欲〉では、CA が高い大学生は社会情勢を注意深く観察・評価し、自己の行動をコントロールしながら就職活動を行うことが示されていた²³⁾。

【適応】は、〈キャリアへの満足感〉〈キャリアの深化〉〈目標の実現〉で構成された。〈キャリアへの満足感〉において、CA が高い大学生は自分の学業に満足し²⁴⁾、看護大学生はキャリアへの満足に影響していた¹⁷⁾。〈キャリアの深化〉では、キャリアへのエンゲージメントに CA が影響し²⁷⁾、看護大学生ではキャリア成熟につながっていた¹⁷⁾。〈目標の実現〉では、CA が希望する就職の内定²⁵⁾や学業成績¹¹⁾という目標の実現に繋がっていた。

IV. 考察

1. 大学生の CA の特徴について

大学生の CA の先行因子は、個人特性やソーシャルサポートの認識など個人要因に関わるものであった。大学生は、人生の目標や自分の役割、適性など自分自身を理解し、周囲の支援を受けながら自己をコントロールしていくことで CA が高まることが明らかとなった。これらの個人要因は、大学生にとって将来の仕事への適応に向けた重要なレディネスとなると考えられる。

CA のアウトカムは、大学生の CA を育成する必要性を強調するものであり、変化への適応状況を評価する指標となることがわかった。社会に移行する大学生が希望するキャリアを計画し、自己の職業的な価値観を理解して情報を探索するなど適応努力を起こすことで、満足やキャリア・エンゲージメントなどの適応につながる。職業生活に不満を抱く若年正社員ほど、潜在的な離職リスクが高い³⁴⁾ことが報告されており、それを回避するためには、先行因子にアプローチして学生のうちから自己を発達させることで CA を育成し、キャリアへの適応努力を高めていくことが求められる。

2. 大学生の CA の測定と看護大学生の CA 育成のための示唆

本研究で示された看護大学生の CA は、困難に前

向きに取り組む姿勢や看護実践に必要な能力などの個人的な因子と、学習環境や周囲のサポートなどの外的な因子によって高まることが明らかとなった。また、自己効力感や看護への満足感だけでなく、仕事への意欲やキャリア・モチベーションにつながるという知見は、看護基礎教育におけるキャリア支援を検討する上で重要である。Anna³⁵⁾は、CA が職業的幸福度を高め不当な転職や離職を防ぐと述べている。看護職は入職後、自身でキャリアを進展させることが難しいという指摘⁴⁾があることから、看護大学生の CA 育成は、不確実な環境に積極的に適応することを可能とする資源を育みながら看護職に必要な基礎的能力を発達させていくことが期待できるため、主体的なキャリア進展のための力を蓄えることにつながると考える。

大学生を対象とした CA 研究で用いられている概念枠組みは、Savickas の CCT が 8 割を占め、様々な文化圏で共通の概念による尺度が使用されていた。また、研究デザインは横断研究が 8 割を占め、個人特性や資質など個人要因による影響に着目した研究が多かった。しかし、CA はキャリアに向けた適応資源であり、大学生は就業前であるため、仕事への適応のための資源を育む機会が限られると考えられる。一方、看護大学生は入学前から看護職を選択し、職務に関する知識や能力、経験を積極的に蓄積しているため、在学中から CA を育むことが可能であると推察される。さらに CA は、変化する環境と個人との相互作用の結果として培われ、発展させることが可能である³⁶⁾ことから、個人特性や能力を把握し、それに適した教育環境を整えることが CA を育む上で重要であると考えられる。

本研究では看護大学生を対象に開発された尺度はなく、先行因子やアウトカムに着目した研究も不足していた。今後は、看護大学生の CA の先行因子を明らかにするための研究を蓄積し、CA を育むための教育環境の構築が望まれる。

V. 結論

大学生の CA に関する 25 文献を検討した結果、以下のことが明らかとなった。

1. 大学生を対象とした CA 研究は、キャリア構築理論に基づいて開発された国際的な尺度を用いた横断的な調査が中心であり、個人要因による影響に着目した研究が多かった。
2. CA の先行因子は 33 因子抽出され、【個人特性】【資質】【自己コントロール】【ソーシャルサポートの認識】の 4 つのカテゴリが生成された。
3. CA のアウトカムは 23 因子抽出され、【適応努力】【適応】の 2 つのカテゴリが生成された。
4. 看護大学生の CA は個人および外的な因子によって高まり、適応への努力を通して仕事への満足感やキャリアの成熟に寄与することが示唆された。看護大学生の CA 育成は、看護職に必要な基礎的能力を発達させ、適応努力を促進する資源となることから、将来の主体的なキャリア進展へとつながると考えられた。

今後は、わが国においても看護大学生の CA に関する研究を蓄積し、先行因子やアウトカムとの関連を明らかにすることにより、主体的なキャリア進展の実践を目指したキャリア支援につなげていく必要がある。

本研究は、日本看護研究学会第 49 回学術集会にて示説発表した内容を加筆・修正したものである。

引用・参考文献

- 1) Warbah, L., et al: Psychological distress, personality, and adjustment among nursing students. *Nurse Education Today*. 27(6): 597-601, 2007.
- 2) 大山祐介, 他: 新人看護師の離職意思の実態と職業キャリア成熟に関連する要因, *保健学研究*, 31: 15-24, 2018.
- 3) 山住康恵, 他: 就職後 6 ヶ月目の新人看護師の離職願望に影響する要因に関する研究, *共立女子大学看護学雑誌*, 4: 9-17, 2017.
- 4) 山崎聡子: 同志社女子大学看護学部におけるキャリア教育の現状と今後の展望について, *同志社看護*, 2: 1-6, 2017.
- 5) Savickas, M. L.: The theory and practice of career construction. In R. W. Lent, & S. D. Brown Eds.,

- Career development and counseling: Putting theory and research to work. Hoboken, New Jersey: John Wiley & Sons. 42-70, 2005.
- 6) Johnston, C. S.: A Systematic Review of the Career Adaptability Literature and Future Outlook. *Journal of Career Assessment*. 26(1): 3-30, 2016.
 - 7) Savickas, M. L., et al: Career Adapt-Abilities Scale: Construction, reliability, and measurement equivalence across 13 countries. *Journal of Vocational Behavior*. 80: 661-673, 2012.
 - 8) Du, B., et al: The effect of core self-evaluations on career adaptability: The mediating role of protean career attitudes and the moderating role of meritocratic beliefs. *Frontiers in Psychology*. 13:1-12, 2022.
 - 9) 河野喬, 他: 多分野連携教育と課外活動が大学生のキャリア・アダプタビリティに及ぼす影響, *人間健康学研究*, 4 : 81-90, 2021.
 - 10) 小澤康司: 大学生におけるキャリア意識とキャリア教育授業理解度の関連, *立正大学臨床心理学研究*, 17 : 1-12, 2019.
 - 11) Avram, E., et al: The incremental validity of career adaptability in predicting academic performance. *Social Psychology of Education*. 22: 867-882, 2019.
 - 12) Hu, X., et al: Mediating Model of College Students' Proactive Personality and Career Adaptability. *Career Dev Q*. 69(3): 216-230, 2021.
 - 13) Fang, W., et al: Relationships between optimism, educational environment, career adaptability and career motivation in nursing undergraduates: A cross-sectional study. *Nurse Educational Today*. 68: 33-39, 2018.
 - 14) Jahng, K. E., et al: College students' adult attachment and career adaptability: Mediation by maladaptive perfectionism and moderation by gender. *Journal of Career Development*. 48(4): 507-520, 2021.
 - 15) Hamzah, S. R., et al: The mediating role of career decision self efficacy on the relationship of career emotional intelligence and self-esteem with career adaptability among university students. *International Journal of Adolescence and Youth*. 26(1): 83-93, 2021.
 - 16) Lee, A., et al: University students' career adaptability as a mediator between cognitive emotion regulation and career decision-making self-efficacy. *Frontiers in Psychology*. Published: 05 October, 2022. doi: 10.3389/fpsyg.2022.896492 (2023.9.1.閲覧)
 - 17) Kim, J. H., et al: Effects of self-reflection-focused career course on career search efficacy, career maturity, and career adaptability in nursing students: A mixed methods study. *Journal of Professional Nursing*. 36: 395-403, 2020.
 - 18) Jia, Y., et al: Future Time Perspective, Career Adaptability, Anxiety, and Career Decision-Making Difficulty: Exploring Mediations and Moderations. *Journal of Career Development*. 49(2): 282-296, 2022.
 - 19) Sahin, E. E., et al.: The mediating role of self-leadership in the relationship between basic psychological needs satisfaction, academic self-efficacy and career adaptability of Turkish under-graduates when life satisfaction is controlled. *Personality and Individual Differences*. 195, 2022.
 - 20) Ma, Y., et al: The impact of proactive personality and clinical learning environment on nursing college students' perceived employability. *Nurse Education in Practice* 56. Published: 23 September 2021. doi: 10.1016/j.nepr.2021.103213 (2023.9.8.閲覧)
 - 21) Green, Z. A., et al: Furthering Proactivity and Career Adaptability among University Students: Test of Intervention. *Journal of Career Assessment*. 28(3): 402-424, 2021.
 - 22) Wang, D., et al: The Effect of Perfectionism on Career Adaptability and Career Decision-Making Difficulties. *Journal of Career Development*. 47(4): 469-483, 2020.
 - 23) Tolentino, L. R., et al: The Role of Self-Monitoring and Academic Effort in Students' Career Adaptability and Job Search Self-Efficacy. *Journal of Career Assessment*. 27(4): 726-740, 2019.
 - 24) Wilkins-Yel, K. G., et al: The effects of career adaptability on intended academic persistence: The mediating role of academic satisfaction. *Journal of Vocational Behavior*. 108: 67-77, 2018.

- 25) Chen, H., et al.: The Influence of College Students' Core Self-evaluation on Job Search Outcomes: Chain Mediating Effect of Career Exploration and Career Adaptability. *Current Psychology*, published online. 23 February 2022. doi:10.1007/s12144-022-02923-419 (2023.9.24 閲覧)
- 26) Korkmaz, O., et al.: Career Adaptabilities in University Students: Examining The Prediction of Career Goal Feedback and Life Goals. *Malaysian Online Journal of Educational Sciences*. 10(1) : 1-10, 2022.
- 27) Sou, E.K.L., et al.: Career adaptability as a mediator between social capital and career engagement. *Career Dev Q*, 70:2–15, 2022.
- 28) Zhang, L., et al.: Social Creativity and Entrepreneurial Intentions of College Students: Mediated by Career Adaptability and Moderated by Parental Entrepreneurial Background. *Front. Psychol.* 13, 2022. doi: 10.3389/fpsyg.2022.893351 (2023.9.14 閲覧)
- 29) 杉本英晴, 他 : ライフキャリア教育科目「自己開拓」の開発および教育効果の検証—2021 年度授業に基づく検証—, *中部大学教育研究*, 22 : 13-25, 2022.
- 30) Magnano, P., et al.: Courage, Career Adapt-ability, and Readiness as Resources to Improve Well-Being during the University-to-Work Transition in Italy, *Int. J. Environ. Res. Public Health*, 18(6), 2021. doi: 10.3390/ijerph18062919 (2023.9.14 閲覧)
- 31) Kim, J.K., et al.: Traumatic Experiences and Female University Students' Career Adaptability. *Career Dev Q*. 69:263-277, 2021.
- 32) Teychenne, M., et al.: A pre-post evaluation of an online career planning module on university students' career adaptability. *Journal of Teaching and Learning for Graduate Employability*. 10(1):42–55, 2019.
- 33) 榊原良太 : 認知的感情制御方略の使用傾向及び精神的健康との関連—日本語版 Cognitive Emotion Regulation Questionnaire (CERQ)の作成及びネガティブ感情強度への着目を通して—, *感情心理学研究*, 23(1) : 46-58. 2015.
- 34) 独立行政法人労働政策研究・研修機構 : 資料シリーズ No.236 若年者のキャリアと企業による雇用管理の現状「平成30年若年者雇用実態調査」より, 第4章 : 168-226, 2021. (<https://www.jil.go.jp/institute/siryu/2021/236.html>) (2023.9.15.閲覧)
- 35) Anna Veres, et al.: Career stage as a moderator of the relationship between career adaptability and professional well-being: A meta-analysis. 81-108, 2018.
- 36) Chen, H. et al.: Career Adaptability Research: A Literature Review with Scientific Knowledge Mapping in Web of Science. *Int. J. Environ. Res. Public Health*. 17(16). 2020.

表 1 大学生の CA に関する文献の概要

文献No)	著者	年	調査国	理論	研究目的	専攻	尺度
8)	Du, B. et al	2022	中国	CCT	自律的キャリア志向態度, 実力主義的信念, 中核的自己評価の影響	-	CA-C
9)	河野, 他	2021	日本	CCT	学年, 性別, 課外活動の CA への影響	健康福祉	CA-C
10)	小澤	2019	日本	CCT	教育理解度, CA, キャリア不安とキャリア開発の積極的態度の関連	-	CA-C
11)	Avram, E. et al	2019	ルーマニア	CCT	CA と学業成績の関係 学業成績予測における CA の媒介役割	心理学	CA-C
12)	Hu, X. et al	2021	中国	-	プロアクティブパーソナリティと CA への社会的支援認知の役割	-	CAS
13)	Fang, W. et al	2018	中国	CCT	楽観主義, 教育的環境, CA, キャリア・モチベーション関係	看護	CA-C
14)	Jahng, K.E. et al	2021	韓国	SSPT	愛着不安と CA の媒介経路と影響メカニズム, CA への影響	-	CA-C
15)	Hamzah, S.R. et al	2021	マレーシア	CCT	個人資源が CA に及ぼす影響とキャリア決定自己効力感の媒介	農業工学他	CAAS
16)	Lee, A. et al	2022	韓国	CCT	認知的感情制御とキャリア意思決定自己効力感の CA 媒介役割	文系, 社会他	CA-C
17)	Kim, J. H. et al	2020	韓国	CCT	キャリア教育による自己効力感, キャリア成熟度, CA への影響 †	看護	CAAS
18)	Jia, Y. et al	2020	中国	CCT	CA の影響要因, 未来展望とキャリア意思決定の相互作用	-	CA-C
19)	Şahin, E.E. et al	2022	トルコ	CCT	心理的欲求, 学業自己効力感, CA とセルフリーダーシップの役割	教育, 文学他	CA-SF
20)	Ma, Y. et al	2021	中国	CCT	プロアクティブパーソナリティ, 臨床学習環境, CA, エンployアビリティ認識の関連	看護	CA-C
21)	Green, Z. A. et al	2020	パキスタン	CCT	研修が積極性・CA 開発に及ぼす影響 †	経済学	CAAS
22)	Wang, D. et al	2020	中国	PM	完璧主義と CA, キャリア意思決定困難性の関係検討	-	CA-C
23)	Tolentino, L.R. et al	2019	タイ	CCT	CA と自己モニタリング, 学業努力, 就職活動自己効力感との関係	経済学他	CA-SF
24)	Wilkins-Yel, et al	2018	TTO*	CCT	CA と学業満足度, 意図的な学業継続意志の関連の検討	-	CAAS
25)	Chen, H. et al	2022	中国	CCT	中核的自己評価の就職活動成果への影響, キャリア探索の役割	-	CA-C
26)	Korkmaz, O. et al	2022	トルコ	CCT	キャリア目標フィードバックと人生目標が CA に及ぼす予測力	-	CAAS
27)	Sou, E. K. L. et al	2022	中国	CCT	社会関係資本, CA, キャリア・エンゲージメントの関連	健康科学他	CA-C
28)	Zhang, L. et al	2022	中国	SCCT	CA と親の起業背景が社会的創造性, 起業意思に及ぼす影響	-	CA-C
29)	杉本, 他	2022	日本	-	ライフキャリア科目の教育効果 †	医療系	CA-C
30)	Magnano, P. et al	2021	イタリア	CCT	生活満足と充実感の保護因子としての勇気, CA, 職業レディネス	心理, 医療他	CA-C
31)	Kim, J. K. et al	2021	アメリカ	CCT	親密者の暴力, 幼少期の有害体験からキャリア形成への影響	-	CAAS
32)	Teychene, M. et al	2019	中国	CCT	オンライン教育短期介入が CA に与える効果 †	健康 他	CAAS

・*TTO : トリニダード・トバゴ共和国、 ・- : 記載なし、 ・† : 縦断研究
 ・理論 : CCT (Career Construction Theory) = キャリア構築理論 (Savickas, 2005)、SCCT (Social Cognitive Career Theory) = 社会認知的キャリア理論 (Lent, et al., 1994)、SSPT (Social Self-Preservation Theory) = 社会的自己保存理論 (Dickerson, et al., 2004)、PM (Perfectionism Model) = 完璧主義モデル (Hamachek, 1978)
 ・尺度 : CAAS = Career Adapt-Ability Scale (Savickas, et al., 2012)、CA-SF = CAAS(2012) - Short Form (短縮版)、CA-C = CAAS(2012) - Country (各国の翻訳版)、CAS = CCT に基づいた Career Adaptability Scale (S. W. Wu, 2008)

表 2 大学生の CA の先行因子とアウトカム

カテゴリー	サブカテゴリー		因子			
	属性	性別 ⁹⁾¹⁰⁾ 学年 ⁸⁾⁹⁾				
先行因子	個人特性	感情・意思の傾向	性格 ¹¹⁾ (外向性, 開放性, 誠実性) 不適応的完璧主義 ¹⁴⁾		楽観主義 ¹³⁾ プロアクティブパーソナリティ ¹²⁾²⁰⁾	
		成育背景	愛着不安 ¹⁴⁾ 親密者からの暴力経験 ³¹⁾	幼少期の有害体験 ³¹⁾	基本的心理的欲求充足 ¹⁹⁾	
	資質	感情調節	感情的知性 ¹⁵⁾	認知的感情制御 ¹⁶⁾		
		創造性	社会的創造性 ²⁸⁾	看護コンピテンシー ¹⁷⁾		
	自己コントロール	将来の自己像	未来展望 ¹⁸⁾ 内発的人生目標 ²⁶⁾	自律的キャリア志向態度 ⁸⁾ キャリア探索 ²⁵⁾		
		自己概念	実力主義的信念 ⁸⁾ 職業的アイデンティティ ¹²⁾	自尊心 ¹⁵⁾	中核的自己評価 ⁸⁾²⁵⁾ 自己理解 ²⁹⁾	
		自己効力感	キャリア決定自己効力感 ¹⁵⁾	学業自己効力感 ¹⁹⁾		
	ソーシャルサポートの認識	人的支援	ソーシャルサポート(家族, 友人) ¹²⁾			
		社会的資源	社会的資本 ²⁷⁾	課外活動 ⁹⁾	臨床学習環境 ²⁰⁾	教育環境 ¹³⁾ キャリア教育 ³²⁾
	アウトカム	適応努力	職業的自立	自己モニタリング ²³⁾	エンプロイアビリティ自己認識 ²⁰⁾	未来不安 ¹⁸⁾
キャリア探索			キャリア探索 ²¹⁾	キャリア探索自己効力感 ¹⁷⁾		
キャリア計画			キャリア意思決定困難 ¹⁸⁾²²⁾ 起業意思 ²⁸⁾	学業継続意思 ²⁴⁾	キャリア決定自己効力感 ¹⁶⁾²¹⁾ キャリア計画 ²¹⁾	
適応		キャリアへの意欲	勇気 ³⁰⁾	キャリアへの積極的態度 ¹⁰⁾	就職活動自己効力感 ²³⁾	
		キャリアへの満足感	大学生生活満足 ³⁰⁾ キャリア・モチベーション ¹³⁾	充実感 ³⁰⁾	学業満足 ²⁴⁾ 看護への満足感 ¹⁷⁾	
		キャリアの深化 目標の実現	キャリア成熟 ¹⁷⁾ 職業内定 ²⁵⁾	キャリア・エンゲージメント ²⁷⁾ 学業成績 ¹¹⁾	専攻へのコミットメント ²⁴⁾	

* CA と負の関連、下線は看護大学生を対象とした文献から抽出された因子